明治四十三年一月十五日發行
毎月一回十五日發行
明治四十二年三月十二日第三種郵便物認可

婦人新報

第百五十一號

日本基督教婦人矯風會

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百五十一號

目次

○社說
新念
○基督教界婦人の活動正に開かれむとす
○分爾主義　農學法學博士　新渡戸稻造君
○衛生と道德　醫學博士　土肥慶藏君
○禁煙實驗談　武藤無堅君
○家庭欄
○下婢教育法につきて主婦に望む　石川哲君
○靑年欄
○新年を迎へて　ガンドレット恒子
○例會報行順序參考　ストラウト女史
○內外通信
本部、神戶、大阪、橫濱、前橋、靜岡、松山

社告

◎婦人新報定價(郵稅共)

一部(前金)　金六錢
六部(前金)　金三十九錢
十二部(前金)　金七十錢
(郵券代用一割增)

◎廣告料

一行(五號活字)　金十錢

明治四十三年一月十四日印刷
明治四十三年一月十五日發行
發行兼印刷人　本多テイ
編輯人　橫倉ヒデ
發行所　婦人新報社
東京府豐多摩郡澁谷村元青山南町七丁目一番地
編輯及事務所　本郷駒込蓬萊町六番地

No. 151.　　JANUARY 1910.

WOMAN'S HERALD.

CONTENTS

Ne v Soul.
Welcome for the Christian women in an active field.
Be Symapthy to every one..............................Dr. Nitobe.
Hygiene and Morality................. ....Dr. Dohi.
Self-denial concerning Tobaco.
Home Dept.
Y. Branch.
Program for the meeting..............................Miss Strout.
W. C. T. U. News.
Headquarters. Kōbe, Osaka, Yokohama, Maibashi, Shizuoka, Matsuyama.

FUJIN SHIMPO OFFICE.
No. 6, Horaicho, Hongo, Tokyo.
70 sen per Annum. Single Copy 6 sen.

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百五十一號

(明治四十三年一月十五日發行)

(明治四十二年三月十二日第三種郵便物認可)

社説

○新念

「年月のくれぬと何か惜みけむ春としなれば春ぞたのしき」是は名高き歌人の、加茂眞淵先生の詠歌で御座いますが、古るき年の古るき事などを惜しみ悲しむ時などには、いつも思ひ起すことの葉であります、思出多い過去のわが生涯を喜んでも悲しんでも、今は何の價値もない事であります、我心の樣を日々新にして行くこそ、人の進歩が望まれるのであります、陰氣な大晦日の空が、名殘なく晴れて、旭の影が門毎に飾られてある、常盤木に、落つる樣を見ましては、深い／＼傷手に心病も人も、自ら微笑を浮ぶるでありませう、理を以て申さば、正月元旦だからとて、別に天地の現象に變つたためしもありますまい、然し人間は美しい感情を持つて居る動物であります、以上は、自づと新年の芽出度さを感ずるのは不思議もないことでありませう、新らしい念を人間が起すと云ふ事は、如何ばかり幸福な事でありませう、古き厭はしき事をぬぐうが如く、新らしき念にとりさられて、進まん、勵まんとの希望が渾身に滿ちて前途に置かれたる競爭場を、走らんと心掛くるほど愉快なる事はないと思ひます『人もし新に生れざれば神の國に入る事能はず』古き人を惜しみて新らしき人を喜ばさるものは、尤も不幸な人でありませう、年の新たになると共に、我が心の古るきをすてて、新らしき念に滿ちて、今年なすべき務の準備をいたしたいものであります、(汝の舊套を脱して、新らししきを着せよ)、活ける新らしき清き水は、かはける我共の前に豐かに、流れて居ります盡きぬ眞清水を掬みて、元氣に滿ちてお互に進みませう。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

○基督教界婦人の活劇正に開かれんとす

基督教宣傳五十年を私共は紀念して、様々の感慨を惹起すので御座います、歴史の示して居りまする上から、我國に該教が宣傳せられましてから婦人の位置は如何でありましたか、略ぼ察する事が出來ます、然しそれは凡ての人が豫期いたしました程進んでは居りませんでした、因循な姑息な舊習から、全く脱する事が出來ませんでした結果、之れまでなされた、婦人の事業が餘り擧らないのであります、婦人の手若しくはその名によつて、組織せられて居る所謂貴婦人の團體の内幕に入つて見れば、思半に過ぐるものがあるのであります、質朴なる宗教的婦人團體には、其質の地味なる丈弊害も少ないし、從つて事業の實も擧りつゝあるのでありますが、之れとてもしいづこも同じ秋風颯々たる有様であります、この四十三年を期して我等婦人は大躍せんと覺悟して、近く婦人大會なるものを開き、大に宗教的運動を試みられんとすと云ふ事であります、私共は刮目して其擧を賛し、其成功を祈るものであります。

○分福主義（第二）

新渡戸博士

私は一粒のお米の爲めに、自殺を思ひ止めた人を存じて居ります、この人は大政治家になるべき、有望な人でありましたが、古郷を辭して上京する途すがら、不幸にして失明いたしました、彼は其親母其妻子の悲嘆苦心を思ふて、感慨の念に堪えませんでした、果せるかな、一家の悲嘆辛苦は自分以上でありましたので、却て自分が亡き者になれば、幸福であると思つて、幾度か、刀を握りまたは川に投せんといたしましたが、その都度妨げられ、日々煩悶の中に其日々々を送つて行きますと、或日の事と一粒の御飯が自分の膝の上に落ちた事に氣がついて、それから其一粒の米の利

釜を考へ出しました、若しこの一粒の白米が口の中に入れられるは、後には血となり肉となり即ち生命になるのである、若し塵埃の中に入ればちりとして用をなさずに終るのである、即ち行く所に從つて生命ともなり、埃ともなるのである、幾多の辛酸を嘗めても、其使途によつては生命ともなりちりともなるのである、自分も之れから生命とならんと、玆に奮勵して世界の生命、人道の生命にならうと決した時には、今迄の煩悶が全くなくなつて、光風霽月の生涯に入り、今も尙ほ有爲の人となつて世の爲めに盡して居られます、實に人間と云ふものは、僅かの所にていづれにも行くものであります。

私は北海道に參ります途次、さる不具者から手紙を受けましたが、その人は實に健全なる人よりも大なる働をなして居るのであります、若し皆様のうちに毎日々々愚痴ばかり云つて、滿足な身を以て、不愉快に送る人があるならば、全くお氣の毒であります、其人の口より出づる不愉快のバイキンが周圍に散亂して、惡影響を及します、不具者がせめて天命を完ふしてもと思つて、愉快なる感想を懷いて、人に接しますなれば、却て丈夫なる人の慰籍ともなつて、よい働をいたすのであります。

話が一寸と前に戻りますが、お互に利用（善意）する事は尤も大切であらうと思ひます、ことに日本人には他人の長所を利用する、良習慣をつける事が必要であらうと思ひます、外國には各々の長所を利用する機關が夥た供つて居りますが、日本には實に少い、否殆んど皆無と云つてもよい位であります、切角の機關てある新聞紙は如何であるかと思ひますと、三面記事を御覧なさい、無い事まで書き立てゝ人を罵詈して居ります、若し三面記事を歐米に紹介いたしたら如何でせう、彼の國人は眞實に日本人は、腐いものを喜んで嗅いて居るものだ、實に不思議な神經を以て居るものだと云ふてありませう、自分の事を申やうですが、先日ある新聞に新渡戸と云ふ人は、若い人をすゝめて離婚をさせる、危險な人であると書きました、私も之れに

は驚かざるを得ませんでした、尤も無根の事實ではないのですが、それは、ある婦人が私に相談をしに來た事があります、其人は實に夫に虐待せられて居るのです、私は其人に一つ奮發して辛抱して御覧なさい、柔よく剛を制するからと申して歸しました、其後二週間ほど參りませんでしたがまた來ました時は一入蒼白の顔をいたして居りました、私はあなたはうつかりすると法律に關係するやうになる、私は夫婦間に立ち入る事は斷じて出來ませんと、なだめて歸しましたが其後二度程參りました、之を見ても、日本にはお互に苦樂を分を機關の乏い事を知る事が出來ませう、分福の機關はことに地方にないのであると思はれます、外國人は個人主義ではあるが、或る程度に進めば人に同情を顯はす事はまことに美はしくあります、吾身をつめて、人の痛さを知られけりてす、私の所に此間も、一人の大學生が來りました、其人は母と二人暮して、實に貧困な有樣で居ります、飜譯をして僅かの報酬を得て、二人の生活と學費にあてゝ居ります、所が母親が其子の事を心配した餘り病氣になつて、目もあてられぬ窮狀に陷り、遂に私の許へ相談に參りました、世の中に斯樣な人は數限りなくあるので御座います、私共が人の弱を探らないで、色々と品定を致しますが、其人々の裏面に入つて心狀を案じて御覧なさい、必ず哀詩があるのであります、胸に（噫無情ラ、ミゼラブル）の樣な、悲哀な思を懷いて居る人が多いのであります、其れを思ひますならば、如何して其人を惡樣に批評などする事が出來ませう、私は誰でもよいから人に同情を表したいと思ふ念から、救世軍には、多大な同情があります、もとは何だかお祭騒の樣に思ひましたが、私は思ひ廻しまして、救世軍の樣な手段でなければ、助けられない人が世の中には澤山あります、即ち勞働者貧民窟に居る人を救ふには、どうしても其主義でなければなりません、それですから私自身では出來ませんから、私の身代になつて働いて被下ると思つてお金も喜んで出します、そしてあの大皷も誰か私の代りに打つて居るのだと思つて、少しも耳

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

障りにはなりません、何でも廣大な考を以て、哀れな人々に同情を寄せねばなりません、大和婦人會も其一部分でありますから、自分の身代と思つて皆樣も善用なさいます樣におすゝめ申ます。

○社告

婦人新報代未納の御方は大至急左記へ御送附被下度奉願候也

東京市本郷區蓬來町六番地

婦人新報社

衛生と道德（第二）

醫學博士　土肥慶藏君

只今田中翁の誠に痛切なる御演說があつたやうであります、翁は豫て承知致して居る如く政界の老雄であつて、其政界の正義の士たる以外に於て雄辯家を以て世に鳴る偉い人であります、其人の驥尾に附して私が諸君の前に出るといふことは、諸君に於ては定めし、不思議に思召すでありませうし、私自身に於ては一層意外の感に堪いないのであります。併し、其由來は斯う云ふ譯であります。此程友人から紹介して、米國の婦人のシッラウトと云ふ方が見えまして、そうして社會教化の爲めに力を致して居られるお話をされまして、纖弱なる一老婦人の身を以て海外までも渡航して、自分の趣意の爲めに運動されるといふことは、實に田中翁にも讓らぬ人と思ふて感嘆に堪へなかつたのであります。その所、婦人は更らに改めて醫者として私に多少の助力をして呉れいといふことであつたから、之は私の力の及ぶ點に於て、快くお受けをしましたといふのは私の專門の關係に於て、何か書いて呉れといふお話でありました。之等の事は私に出來得る事であるから承知いたした、然るに、更らに別れて後、本會へ出て一場の話をして呉れといふことであつた。之は私が固辭して受けなかつた、何故受けなかつた

かといふに、さういふ柄でない、唯、私は公衆の前に話をするといふやうな、ことは出來ないことを自分で、知つて居るからして、斷つてお斷はりした所、圖らずも、矢島先生が、更にお言葉をお添へになつたから、御辭退することが出來なくなつて、今日の仕儀になつたのであります。さういふことで、此處へ出ましたけれども、お話することは迚も、諸君の興味を惹くといふことは出來ないのである。私は演說はすることは出來ないので、單に、講話を致すのであるが、講話も自分の醫者としての立場からして、衞生上の事をお話しするのである、所が矢島先生はそれで宜いといふことであつた。衞生の事でありますけれども、もと、此會が「婦人矯風會」と申すのであるからして、其終りへ單に道德といふことを附けたけれども、大體の事は衞生に限つて居るのです。其お積りで、どうかお聽きを願ひたい。且つ斯ういふ事柄は、口で言ふよりも眼でお目にかけた方が、早分りのすることとて、殊に咄辯なるものを以て申上げるよりは一層、眼に依つてお目にかけた方が、諸君の腦裡に印象を與へることが深からうと思ひまして、話の後へ、幻燈を以て說明致したいと思ふのです。

衞生といふても誠に意味の廣いものであり、公衆衞生もあれば或は個人の衞生もある。併しながら國家存立の上に於て、其基礎を固うするには國民の健全を圖らなければならないとすれば、個人の衞生も公衆の衞生と共に、兩々相俟つて健全にして行かねばならない次第である。其衞生といふことは、詰る所、病をば未發に防ぐにあるのであつて、古人も謂つて居る。禍といふものは其隱微の間に發するものであつて、明者は之を未萠に防ぐ、智者は之をば未明に——未だ明らかならざる時に於て之を避けるのである。衞生の秘訣といふものは正に此一句に盡きて居ると思ふのである。醫者といふものが實際今日働いて居る所を見るといふと、實は何程の事もして居らないのです。或は病氣に依り何か藥でも與へると、醫者が病氣を治したやうであるが、其實それは醫者が治したのではない、之は自

然に治つたのであつて、醫者は唯々患者が病氣に對して無理をして重くならぬやうにするといふことである、強ひて言換へれば、幾分か病氣を滅殺するといふことは出來るであらうと思ふ、殊に傳染病の如きに至つては、其害毒の及ぶ所が甚だ廣いに就て、之を豫防するといふことは醫者の最も務むべき事である。傳染病といふものには種々なるものがあつて、或は急性傳染病もあり、或は漫性傳染病もある。急性傳染病と云へば、虎列剌、とか黑死病、とか窒扶斯、とか赤痢とかいふやうなものである。漫性傳染病の中で最も國民に害毒を與へるものは三つある。第一は、結核、第二は梅毒、第三は癩病である。此三つのものと別に酒毒といふものを合せて、之を國民の罹民疫と稱して居る位である。此三つ乃至四つのものを豫防するといふことが最も吾人の努むべきことである。酒毒の害毒は片山博士が此前に本會でお話になりました。が、併し此三つのものに對して吾人は如何なることを爲し得るかといふことに至ると、極めて微力に過ないのである。

殊に結核の如きに至つては、此病毒といふもの丶蔓延することは實に廣い、さうして其病毒といふものも容易に滅じないものであつて、何處にでも塵埃と共に飛んで歩いて居るのであつて、容易く身體の中に入るので、之を防ぐのは最も困難なることである。梅毒の如きは、之には特効藥といふものがあつて、水銀といふものが、差當り病氣の激しい時には之に依つて幾分か退治するの途が分つて居る。て、癩病は歐羅巴の如きは一時非常に蔓延したもので、十三世紀、十四世紀の頃には歐羅巴全州癩病患者の居ない所は無い位であつた。然るに今日は其痕跡を絶つまでに至つたのである。之は全く豫防の法が行屆いた爲めである。東洋の如き、殊に日本の如き、今日に至つて初めて豫防の方法として、癩病療養所を建てるといふに至つたのは既に晩いと雖も、倘ほ宜しい。斯くして幸に離隔して行けば、終には其害毒を絶つといふことは決して六ケしいことはない。梅毒の如きも、之は寧ろ國民の道德心が堅固であつたならば之を豫防するの方法と云ふも

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

のも亦甚だ難からないのである。其方法は極めて簡單てあるにも拘らず、之が益々蔓延の傾向があるといふのは、國民の道德心が十分に堅固でない證據と見なければならぬ。今日は主として、痳疾……痳疾といふ言葉を此處で使ふのはよくないが、實は餘儀ないのである。さういふものは即ち言ひ換へると、花柳病と云ふものである、此花柳病に就て聊かお話をしたいと思ひます。

花柳病といふものは讀て字の如く、花柳の巷からして起つて來るのです。決して他の所から起るものではない。從つて之を豫防するの方法といふものは極く明々白々である。併しながら、之を豫防するの途といふものは行ひ易いやうな風で、易いものではないのです。所で、此病氣はどれ位害毒のあるものであるかといふことを、先づ言葉でお話をする、然る後、圖でお眼にかけやうと思ふ。私は此疾病の事に就ては多少關係があるのであつて、殊に花柳病といふものが、世界に蔓延して居るといふことに付ては、世界の識者が甚だ心配して居つて、先年歐羅巴に於て、此撲滅會といふものが出來た。道德及び衛生上の害と云ふ名で以て、花柳病の豫防法を計畫した。其れに就ては亞米利加及び日本も之に加りて國家事業として、世界からして、此病氣の撲滅方法を講じて居る。日本でも之に倣ふて、豫防會を起し、現今、其爲めに、第一に醫者の方の智識を普及するといふので講習會を開いて昨今やつて居たといふわけのものである。さういふことであるから、斯ういふ機會があつたならば、其席に於て、一方では醫者の方の智識を普及すると同時に、一般公衆が幾分たりとも、其豫防方法を講ずるのが目下の急務であると考へる。

凡そ、梅毒及び痳病即ち花柳病此の花柳病なるものは、どういふものであるといふと、孰れも觸接傳染といふものである。觸接傳染といふのは、物に觸れて然る後起るのを云ふのである。それには、病源といふものがある、總て傳染病には病源がある。其病源に二つある。一つは細菌と云つて、バクテリヤと云ふ植物性

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の黴の如きもの、一つはプロトツーエンといふ小さい動物である。原生動物である。此病氣の原因は今から遠くない時分に發見されたので、其中で最も著名な、最も早いものは結核である、其結核菌は千八百八十一年に去年日本へ來られたコッホといふ人が發見されたのである。それから、窒扶斯の黴菌もバクテリヤてある、ペストの黴菌もバクテリヤであるといふことが分つて來たのである。之は皆な植物性のバクテリヤに依つて起つて來るのである。だから、傳染性の病氣はバクテリヤばかりて起るものであるかと思ふて居る間に、又一方ては動物を發見した。マラリヤ、マラリヤの中には蟲がある。その蟲が血中に入つて害を爲すのてある、或は亞非利加に睡眠病と云ふものがある、之は矢張り動物の爲めに起るのである、然るに梅毒の原因といふものは今迄はどうしても分らなかつたのに、今から五年程前に至つて、之も同じく動物で以て起るといふことが初めて分つた。又痳病の黴菌といふものは、之はコッホの結核菌が發見されて間も無く、之と前後して、發見されたもので、植物性の黴菌である。さう云ふ至微至細のものが人體に這入ると、害毒を及ぼすことは實に吾人の想像以外にある。然るに其智識の及ばぬ時に於ては、極めて輕微ある病氣と思つて等閑に附するといふことは誠に慨嘆な次第である。今其害毒の模樣をば、一つの例に依て諸君にお話したならば分り宜からうと思ふ。此處に一人の青年があつたと假定しまして、其青年が學校を卒業しまして、今や獨立自營の道を得て、父母を奉養し、兼て一家を形造るの境遇にまて至つたとしたならば、さうして然るべき人があつて、其青年の爲めに月下氷人となつて、健全にして無垢な花の如き少女を娶るといふことになり、さうして又兩親たる人も早く初孫の顏を見やうと思つて喜んで居つたとしたならば、さうして若し此青年が健全であつたならば、其前途といふものは誠に洋々たるものであつたに違ひない。然るに、此青年が假りに誤つて、友人の誘惑に遇ふて一二度足を狹斜の地に踏入れたと考へて見る、さうして其間に圖らずも不幸に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

して病を受けたとしたならば、その結果はどうてありませうか。青年は自分の病を知つて、醫者に行つて治して貰ふ、けれども、其病氣といふものは二日や三日て治るものではない。其中に結婚の時期が段々迫つて來る。終に兩親に此事を話し切れず、又危險の大なることを知らずして結婚したとしたならば、若し其病毒が痳病てあつたとしたならば、此花の如き新婦は僅か結婚後數日に於て必ず病に臥するに相違ない。さうして熱を發し、身躰は衰弱して、痛む、それから益々熱が高くなつて、今迄窈窕たる少女てあつたものが、一朝にして羸瘦した所の病婦と變じてしまつた。甚だしきに至ると、其熱の爲めに終には生命をまても失ふやうな事にも屢々なるのてある。それが爲めに婦人の子宮内膜炎といふものに罹つたり、或は喇叭管炎とか、卵巣炎と云ふものに罹る。それから、倘ほ黴菌が進んて腹膜に這入ると、腹膜炎を起すのてある。之は實に危險なもので屢々命を取るものてある。之が至微至細の痳病の黴菌の爲めに起るのであるといふと、實に寒心に堪へない。幸に其新婦が病氣が治つたとしても、一旦身躰の病むだのはモウ治るものてはない、時々癪を起してさうして痛みを覺えるとか、或は病身の爲めに主人の愛も段々衰へて來るといふ間に居つて始終苦痛に堪へないから、自然にヒステリー性を起して益々夫には嫌はれる、終には子供まても出來なくなつて、落莫なる生活を送るといふ誠に悲慘な境遇に陷るといふことは屢々あることてある。此事は他の所で家庭と婦人病といふことに就て話したことがあるから、今日は立入つて話しませぬ。

○禁烟實驗談

武藤無聲

喫烟が人體に有害である事は喋々として說明をする必要がございません。

私は莨を廢止たいと思ふても迚もやめられないといふ御方の爲に聊か自分の實驗せる所を披瀝して御參考に供へ又斷乎として御廢止なさる事をお勸め申します

次第であります。

私は酒は餘り好みませんてしたから買つてまで飲みたいとは思いません程だから信者になると斷然禁酒が容易く實行ましたのは大變な幸福だと思つて神樣に感謝しております。

所が莨といふ奴非常の勢力を有つておりまして中々私の心の命令に服從して與ませんてした幾度か廢止うと決心しましても中々廢止られないので遂には自分勝手に都合のよい解釋を下して盛んに自己を詐むておりました。

自己を詐き人を詐き幾度か禁烟を契ひ乍ら間もなく破約しております間が殆ど數年老ひた母が熱涙を以て禁烟を迫られましても迚も廢止める心はまだ起りませんてした。

併し母を詐き友を詐き自己を詐く事が出來ましても天に在ます眞の神樣を詐く事が出來ませんてした。

かゝるうちに私は(ふと)した事から神樣の福音を傳道する事になりまして日曜日毎に敎會に働き又日曜學校の生徒の一組を受け持つて訓導する身分となりました。

或る日曜日の朝御祈りをしておりますと主キリストが近く私の靈に御出てになりまして仰せ玉ひますには「汝は此愛らしき多くの日曜學校生徒を汝の樣な莨飲に仕上げる心か、汝の樣な横着信者に仕上げる精神か」嚴然として御下問になりました、其時私は思はず戰慄しまして自己の罪の餘りに深い爲迚も日曜學校の敎師となり又傳道の聖業に與る資格のない事を悲みましたそれから私は斷乎として禁煙して仕舞ましたまづ自己を清め自分躬が禁煙の人とならざれば迚も人樣を禁烟の人とする事は出來ない。況や清淨無垢の兒童に喫煙の害を說く資格がない自ら良き信仰の人とならざれば人を良き信仰に導く事は出來ない(嗚呼我責任の重大なるかな)と今更の如く新らしく尤も痛切に深く感動したのてありました。

自ら性行の惡き事は直接に人を害する事てあります人を害するものは取りも直さず神を害する事であると心

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

付きましては最早迚も一服の莨も口にする事が出來なくなりました。

約翰は眼に見ゆる兄弟を愛せずして爭かて眼に見えざる神を愛する事を得んやと申されましたが實際その通りて私共眞に神を愛するものならば兄弟の爲有害なる煙草などを廢止るのは何でもない事であります。

要するに自己中心ては迚も禁烟は實行出來ませんてしよう語を代へて申せば自分の病氣の爲とか敎會に對する信用の爲とか何とかと自己を中心にして禁烟を思立つのは甚だ不健全であると思います、私は幾度かそれて失敗しましたしが他愛的となつて要り神を愛し友を愛する精神が盛んになつて來て初めて爰に自分の爲にはどの樣な好物があつても神樣や友輩の爲に害となる事なれば自己よりも友を愛する精神に依つて斷乎として（人に曰はれないても自動的に）禁烟を實行し性行も正しくなつて參るといふ次第であります。

幼兒は大人の言ふ事は聞かないても爲ることは直ぐに見習ふものてありますから大人たるものは第二の國民として大切なる兒童幼年諸君の爲に細心留意せねばならぬと思ひます。

私の父は一日二三升の酒を平らげたそうですが明治十五年十二月二十日基督敎の洗禮を受けて以來一滴も飲みませんてしたその御蔭て私共小供は酒の味を知らないて成長しましたから大人となつた今日ても酒を好みません樣になりました私の母も莨が大好物てありましたが父があの位好な酒を（ふつゝり）廢止たのに感じてこれも斷然禁烟してしまいましたそうてあります。

私の家庭には酒も莨もありませんてしたから私共の爲に大そうよい敎育法てありました。

けれども私は幼少から商家に入つておりましたので（莨のみ）になりましたが御聖靈の御力によりまして遂に斷然禁烟の人となつた次第であります。

煙草の廢止られない人々兄弟よ。自己よりも神を愛し兄弟を愛して御覧なさい烟草位廢止るのは（朝めし前の仕事であります）。

○家婢教育法に付て主婦に望む（第二）

三、管理に關する心得

主婦は實際に仕事に手を出さぬから仕事の經驗がない爲に此れも彼れもと餘り要求が多過ぎる事よりして家婢は失望する事が屢々あるものであるから宜しく斟酌すべきてある主婦は自分が見習の積りになつて家婢より仕事の仕方を習ふ心持て常に其仕事を管理して行くがよい、かやうにすると困難の骨折も彼等家婢は忍んてやるのてあつて又主婦の信用を得やうと働くからして奬勵ともなるのてある、そればかりでなく主婦自らも仕事の出來榮を見る明を得る譯てある、此れは何事にせよ人の上に立つて人を統御して行くものには何時も此の心掛けが大事てある、それから仕事の配當と云ふ事は又餘程大切てある、元より主婦の命令は何時にせよ自己の仕事だと心得しむるはよいけれども其仕事は常に公平てなければならぬ、是は多くの家婢を使ふもの丶特に注意すべき事てある、さもないと主婦は徒らに怨を買うばかりてなく家婢同志互にそねみ合ふ樣になつて終まう、なほ仕事は常に秩序正しく分擔してやる事も必要てある、是れは各自責任を以て仕事をやり時間を空費にせず仕事も從て捗々しく行く事で秩序責任等の美德を訓練する助となるのだ、次に主婦は一と通り其働き振りや指導の方法やを知つたら暫らく家婢のなすまゝに一任するがよい、其の上でもし落度があり氣に入らぬ所があつたら徐々と丁寧に助言するがよい、さるを世の主婢は少し氣に合はぬと頭ごなしに叱り付けて是て家婢が善くなる樣に心得て居るものがないてはない、之れ徒に家婢の心を害ふばかりて何の益にも立たない一體氣分によりて事柄をするのはよくない事て大抵一方に偏し公平を缺くものてある、なほ一つ注意すべきは朋輩同志は互に他を命じ合ふ事がない樣にしなくてはならぬ、もし斯ふ云ふ必要な場合がある時は必ず一旦主婦の意を得て直接主婦から命

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

令る様にすべきてある、そうてないと朋輩同志憎み合ふ様な事が起るからてある。

四、主婦が家庭の模範たるべき心得

一家の經營を負つて人を指導するものは先づ其身を修むる事が急務てある、人は交る友によると云ふ事は人の模倣性の極めて大切な事を云ふたものて一般に幼者は長者を見習ふものてあるから此の點よりして主婦は餘程注意せなければならない、學校て教師の言語動作が直接兒童に影響する様に、もし主婦の方に優美鄭重親切等の婦德が言行の上に缺けて居るならば家婢も之に見習ふべきは明かな事てある、だから起居常に此等の事に注意すべきは勿論同じく事を命令けるにも丁寧に願望の意を表含して言い付けると爲す方の人も心地よく感じて全力を盡すのてある、また特別の働きには相當の敬語を以て認めてやり朝夕の禮なども溫情を以て樂しく答禮すべきてある、禮は胸中の敬意を形に表はすものてあるから教育的價値のある事は言ふまでもない、口は禍の門とさへ云はれて居るから誰ても言語は愼むべき事てあるが動作の上にも言語が表はれるものてあるから主婦たるものは胸中邪念邪慾を去り常に正意正情に保たん事を勉むべきて苟にも輕蔑の言語動作があつてはならない、兎角婦人は氣分に左右せられ易く左様に心酒し怒らなくともよい事に怒つたり叱かつたりし、それて家婢もよくなると心得殊に甚しきは來客のある毎に毛程の事を仰々しく話し立てゝ自分の欝を散じ怒をもらして得々然たるものもある、家婢が餘所の家庭の井戸端會議にも耳を傾けて、つまらぬ事より彼等を相手とり口論の結果は惡意强情のつゞけ比べをなすに至つては實に言語同斷の外はない世の主婦たるものよ、主婦は一方用意周到なる心得を持つと同時に常に光風霽月の度量あるべき事を望む次第てある、子供の家婢に對する事も主婦は注意すべきてある、大抵親は子供の愛に溺れ易い所より子供の云ふ事には一も二もなく盲從する傾がある、爲に隨分我儘勝手な命令をする家婢は子供を嚇したり叱たりする譯に行かぬから何ても言ふ儘にするのてある斯ふ云ふ事は

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

獨り家婢を扱ふ上からばかりでなく實に子供の教育と云ふ方から見て大切な事である。

五、家婢奬勵に付ての心得

此れは家婢の賞罰とも云ふべきもので主婦は日常彼等の仕事に注意し其のよき働きと其厚意とはよく認め大に賞讃てやる事が必要である、一體家婢にとつて主婦の讃詞ほど喜ばしき安慰はないのであるから出來る限り賞めてやるがよい是は啻に彼等を安慰てやるばかりでなく其よき働と其厚意とを繼續て偏に主婦の信用を得んと勵む助となるのであるそれからまたよき働厚意等を賞讃て置く事は時に其過失を指摘して教ゆる場合に大に効果がある然るに多くの家庭では家婢を器械の如くに觀て居るから十二分の働と厚意とを認むる餘地がなく絶えず小言やお說教ばかりきかしてをる之れでは折角の命令も格別に思はない樣になつて却て惡い感情を養成し遂には失望自棄に終はらせ何の功もない、忠實に働く事も不忠實に働くも皆將來彼等の身元保證となるものであることなど懇々と教へてやるのも奬勵の一方法である主婦たるもの深く味はふべきである。

六、家婢の居室に付ての心得

人の心情は其の周圍の樣子によつて非常に變るものであるから清楚に心地よい樣に室內をさせるのは必要である殊に寢室は衛生の上から見ても斯くすべきものだが此の上に家庭的溫愛の情を起させる樣にありたい是は家婢の美的情想を養ふ所以である、なるべく各自に室を與へる樣に欲しい是は到底今日の所では出來ないが少なくとも押入位は別にすることは出來ると思ふ是は秩序や自治と云ふ精神を養成する一助ともなるのである然るに世の多くは家婢を牢人扱ひと心得て薄暗い不潔い室に一枚の煎餅ふとんを預けて是で忠實によく働いて貰はうと思ふのは實に無理な注文である。

七、家婢の安慰休息に付ての心得

今日の家庭では家婢を朝から晩まで無茶苦茶に丁度器械でも使ふ樣に使つて居る、元より各家庭が特別に休日を與へて休ませることまで行かなくとも秩序ある仕

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

事をさせる事が肝要だ秩序のある仕事は時に休息よりも遥に優るものである、それから家婢は大抵遠くなつかしい故郷を離れて居るものだから主家に對する心使へばかりでなく色々の心配があるから何につけても心配させぬ樣に注意せねばならぬ次に女子として尤もなくてならぬ藝は針仕事であるが世間の家婢を見ると過半出來ない、是は無理もない事で彼等は種々の境遇によつて幼時より人に使はれて居つて其を習ふ時機がないのである、誠に同情に堪へません、彼等もやがて一家の主婦となるのだが其時には十中八九人までは一人手で家政の事を一から十までやらなければならぬと見てよかろう、此う云ふ責任を負つて働いて居るものに對し涙あり同情ある主婦よ、もう少しく溫情を以て夜分にても幾分の時を割いて教へてやつたら當人は元より其兩親も嘸有難たいと感謝するに違いない、なほ出來るならば文字も教へて欲しい、古新聞や作法書類位は彼等に讀ませる樣にしたい、併し是れは家庭により又た家婢の學問の有無にもよるから皆に望む事は出來ないが裁縫の事だけは是非教てやらなくてはならぬ。」

之を要するに今日は教育と云ふ教育は殆ど行はれ上は高等教育より下は徒弟教育まで其他學校以外には通俗講演とか社會矯風會など云ふ機關があるから漸次一般社會の風教も高められる事と信ずる、が斯う云ふ事に與はつて居るものは大抵男子と云ふてもよい位で女子殊に家婢は外出する自由がないから折角の講演も聽く事が出來ぬのであるから其の教育の任は實に主婦の專有と云ふべきだ、而して家婦は、やがて第二國民の母である事を考へたならば、其家婢時代の教育の如何に大切であるかゞ解ると同時に其家婢の教育に當れる主婦の責任の大なる事も亦一層明かである希くは世の主婦たる方々常々此の事を心とし家政の衝に當られんことを。

終りに臨み一言したいのは今回内務省感化救濟事業講習會に出席した一米人の感話であるが、至極吾人の意を得たもので一般の人殊に婦人の參考に價すると思ふ、其中に次の樣に云ふてある、當局が各方面に調査

の行き亘つて精密なるには驚くの外はない、只余が不思議に且つ口惜しきは婦人の出席者少なき事と會の始終一度も祈禱のなかつた形である子弟感化教育の婦人には負ふ事の大なるは一般に認められて居つて現に米國などでは其の七割までは女子がやつてゐる、それから斯う云ふ事業は到底人力ばかりて完全に行くものてなく吾人が衷心神に祈り其恩惠によつて初めて成功すべきものだと思ふ云々と云ふてある。

青年部欄

部長ガントレット

明治四十二年も瞬く間に過ぎ去り又一つ新しき年を迎へまして逢ふ人毎に「御目出度う」と云ひ交せますが其云ふ自分が偖て新年が何故に御目出度いのだか一向理由が分らずに云つて居るのてす、本より過ぎ去つた年に於て御互が受けた天よりの恩惠を思ふ時は本當に感謝に言葉はないのてす然し自分は此恩惠に對して如何にむくひて來たか自分の義務責任を完全に盡して來たかどうかを考へます時は只其足らなかつた事を悔るの外ないのです、それなれば四十二年と云ふ書き汚したページを一枚繰り送つて新に開けた四十三年と云ふページに來たのが何故に目出度のでしやうかと云ふ事を考へて見るのも眞逆無益な事ではないと存じます、其處て私の考へ付いた事は新年の目出度い譯は過ぎ去つた年即ち今繰りやつた舊いページに於て得たる多くの經驗と知識と覺悟とを以て新しきページに新たに筆を執る事が出來るからであると思ひます若しいつも同じページ而も汚點に充たページばかりを眺めて暮さねばならぬのてあつたら聖人君子ならいざ知らず、とても我々俗人には新しい勇氣を以て書き續ける力はありますまい、十二ケ月毎にページが改たまればこそ、今度此のページこそはと思つて奮發して書き直しが出來るのてはありますまいか。其處て四十三年と云ふ眞白な新しいページに對し我々青年部員は如何なる覺悟と決心が必要てありましようか私はポウロのテサロンケ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

人に誡めた言葉即ち「兄弟よ善を行ひて倦む事勿れ」「熱心に善き事を行へ」等の教を實行する事で善は即ち人のなすべき事である故に何事によらず凡て自分のなすべき事と知たら熱心に倦ます弛ますなそうと云ふ確固たる決心が最も大切であると思ひます、特に我々婦風事業の如き困難なる業に携はる者は此覺悟がなくてはなりません我々の行路には決して樂しき美しき處ばかりはありません、或時は猛獸の伏す山路にも分け入り又或時は咫尺も分ぬ濃霧の中にさまよつたり人跡絶へたる淋しき恐しき沙漠を通らねばならぬ事もあるのです、失敗の沼怠惰の澤林失望の谷嘲弄の嶮坂誤解の沙漠は常に我々の行く手に横つて其進歩を妨げて居るのですから、普常大抵の事では目的の彼岸に達することは出來ないのです、故に善き事で自分の爲すべきことであると信じた事なら如何なる障害があつても必ずやり通すといふ決心がなくては成功する事は出來ません、私は近頃「ガーシャの密書」といふ小冊子を讀んで非常に感じました、彼の十有餘年前の西米戰爭に際し位置も低く年少の一士官に過ざりしローワン中佐は一度時の大統領故マッキンレー氏よりキューバの反漢ガーシャに密書をもたらすべきの命を受くるや彼れは只キューバに何處にか而かも人跡絶無の山中の何處にかあるとのみにて其所在地すら判然せざるガーシャを探ねん爲め單身敵地を横斷して突進し遂に首尾よく其使命を果したのです、而して此事が世間に知れ渡つて人々我が先にと彼の感歎すべき行動に付て聞んと迫る時彼は冷然として「予は單に我が爲すべき事をなせるのみ」とて少しも自分の行爲を人に誇らなかつたのです今日我々御互にはガーシャに使ひすべき任務は與へられずとも主の福音を得んとて我等を待つ幾多の老若男女のガーシャがありはしますまいか、彼の西米戰爭の勇者ローワン中佐は自分が引受た務は自分がなすべき事であると信じた以上は一寸の猶豫もなく世の毀譽褒貶には頓着せずして、只管天與の凡ての知慧と注意と勇氣とを揮ひ來るべき結果は天に任せて猛進したのです、よしや彼が使命を果さずして中途でスペイン軍の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

手に死したりとするも已に彼の神の前に成功せしものと云はねばなりません、我々も世の所謂成功不成功にはよらず單に自己の責任を盡すに死に至るまで忠信ならん事を努めねばなりません、神より「アヽ善且つ忠なる僕よその主の喜びに入れよ」との賞詞を受くるに價値ある者は世の所謂成功者てはありませんたとひ人の目には不成功の如く見えても眞實己の務を知り之をなすに全心全力を盡せしものこそ眞の勝利者てあります、精氣に充ち春秋に富める同志の青年諸姉よ本年こそは小事にあれ大事にあれ自己のなすべき事業に向つては忠實熱心を旨とし一意專心之れが爲に盡し小いながらも一個のローワンとならん事を努め様てはありませんか、

主よわがうちに　やどりたまひて
ちゑとちからと　しのびをあたへ
死にいたまでも　いとまめやかに
なすべきつとめ　つくさしめてよ

はぢをいとはず　なやみをしのび
人のむくひに　こゝろをよせで
主のてにすがり　いとをゝしくも
なすべきつとめ　つくさしめてよ

内外通信

例會執行順序參考（一月二月の爲め）

ストラウト女史

1 讃美、2 聖書朗讀（羅馬書八章）3 祈禱、4 讃美、5 前會記錄朗讀、6 會計報告、7 會員の點呼（會員は聖句若しくは適切なる引證語を以て答ふべし）、8 獨吟或は獨奏、9 附議五ヶ條

1 如何にして會員の增加を計るべきか
2 如何にして例會の發展を計るべきか
3 各課の活動を如何にして盛ならしむべきか
4 財政の整理を補けまた事務本部設立を如何なる方

法を以て助くべきか

5新年に於ける活動の計畫並に決心は如何

10音樂、11數人の祈禱、12懇談

前述の討議條目紙は預め會員若しく役員に配布し例會の折數人をして討議に附せしむべし

○本部

本部に東京聯合婦人矯風會を助けて十二月十五日午後一時半より麴町區麴町教會に於て聯合親睦會を開く、來會者各支部を代表して六十名餘、本多會頭の司會のもとに聖書朗讀祈禱につき矢島會頭の東京矯風會の沿革談ありたり、ストラウト、デビス兩女史の奬勵談に眠れる會員は大に覺醒せられたり、後ち芝を代表して井深花子姉、麴町を代表して中澤東子姉、赤坂を代表して小崎千代子此各支部の狀況等を報告せられ終りて階上に於いて茶菓の饗應あり、歡を盡して散會せしは軒端に燈のかゞやく頃なりし。

一月九日午後二時よりキリスト教各團躰と聯合して青年會に於て、クラーク博士夫婦を歡迎す、會を代表じて本多夫人歡迎の辭をのべらる來會者六百餘名にしてなか／＼の盛會にてありき。

○會頭の冬期休業中の活動

左に示す會頭の書翰に依て盛なる活動の樣を想像するに足らんかゝる健全なる會頭をいたゞく我等また感謝いたすべきなか。

（中略）十二月廿七日に東京を出て廿八日より風邪におかされこの肉體の苦ろしくて自由ならざるを實驗の第一越年二日には神戸市の大歡迎會是にも出られず當の市婦人がたは十分御もてなしに御つとめになり會長のクラーク博士には特別の挨拶もありましてた其他種々のさかんなる集會ことには餘儀なく婦人かたは中心となり矯風會として新年大親睦會か名として集りたる會員百八十名是れには客として招かれしは市内諸學校小學高女の女教員五十名はなし手は渡瀨牧師場所は神戸教會の日曜學校々堂悉皆の坐敷に教會所有のあたらしき坐ぶとんを十分に敷つめ客のと主人のは向合にして茶菓の饗應貳百人前の福袋と記したる紙の袋におもひ／＼面白わかしき送りもの（袋五十錢位）尤も當地の事とて不必要の品なぞははいつて居らずたゞ中を見ずしてくぢ引のしかたなる故牧師の袋に花かんざし半襟といふのがあると見る間に若きお孃さんの曳いた袋からいかめしい男むきの品が出るなどの事は最もけう味あり此品々は最初發起者より諸會員が遊說して前々日までに

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

場所に持込み置きその人は是を整理して餘りに品位に甲乙の差なきやう計らひたるものにて親睦會に於て非會員を招待してもてなす事はよひおもひつきと見てまして是にも感心それは六日の事にて私は夫等の人々に面會して親しくまじはりよく七日に當呉市爾城なる軍人ホームの十時菊子の宅にむけ出立神戸より汽車最大急にて十時間也梅川市といふテイ車場にて乗替への處に小野大尉といふ人と他に一人の海軍々人がむかひに參り居り候故術にしらぬ道も心配なく到着七日は土曜日ゆへ日本基督教教會の講義所は呉市第一の場所として會堂むきにりつぱになり居候こゝより雨天にも不係會員はほとんどのこらず參り居候間矯風會は幸福にしてなすべきの會はいるべきの家庭といふ意味によりてはなしを致し聽て時を見れば一時間と十五分述べ續あゐだの懸しくなつたのですよく日曜は同じ教會の禮拜に參り同地の米國宣教師の宅に御晝の休みをなして夕刻歸り食事の後に勢力強く軍人二三十人と『軍人と宗教』『宗教と禁酒』の係りの惑話を又も一時間ほど述續けしホームの軍人は一月に一度歸る人もあり二度の人二度半位が關の山なりしと雜有事には十時姉のはじめられて二年足らずの間にりつぱなクリスチヤンの兄さんとなりて新き父母の家に歸りてその親戚に歡こばれ傳道に心ざして居る人もありホーム所有のおるがんをよくおやなして或は獨唱或は獨吟の樣なるを夜る／＼あつて來た人のおもしろくのんきにやつて居るのもその師匠さまは聖書の研究も音樂も十時先生です中々呉軍港の一人として實に偉人ですと今に大なるしるしを見る事とおもわれます

一月十日　呉より

矢島拜

横倉秀様

○神戸

十一月十四日萬國改良會東洋部長ツウヰンク氏來神兼ねて兒童教育に興味を有せらるゝ由聞き及びし故午後二時より神戸教會に於て子供のための集會を開き同師の同氏の御話を乞ふ、來會兒童百五十計り讃美歌番を唱し馬太、五章朗讀祈禱をもて開會師は禁酒につき興味多く而も流暢なる日本語にて禁酒桃太郎と題する繪を掲げて語られ最後には四百十八番の「主義を愛す」の讃美を六個國の國語を以て唱はれ、兒童等に布哇語にて教へられしに一同大喜び「ケーケヤロハー」と大聲に唱ひ歡喜つきせぬもののあるが如かりし、三時半閉會す。

同廿日ミス、ストラウト、來神、午後女學院に於て演說せられ尚夜七時より神戸教會に開催の公開演說會に於て語らるゝ所あり、夏大會開催の節識る所なりし市の教育者諸氏に一々案内狀を發送せしも不幸にして當夜教育會開かれ其方出席のため一人の來會者なく又他

の敎會特種の集會ありしを以て會員亦僅に數名を算ふるのみ折角遠路來神の嬢に御氣の毒に堪へざりしも尙男女合せて五十餘名の聽衆あり特に其多くは靑年にして未だ神の敎を信奉せざるものゝ如く嬢が演說の恰も彼等が要求に適中せるものなりしは吾等のいたく喜とする所なり、演題の放蕩息子（路十五。十一）に就きて其大意。

世の多くの父母は其子に犯惡の方面をも味ひ知らしむる事は頓て身修り行固く精神定まる所以なりと思惟せるものあれど之れ謬れるの甚だしきものにして一度毀けられたる傷は終生癒ゆるものに非らず、一度損せられたるものは又償ふ可からず放蕩息子は翻然悔悟、歸家して父の數に入れられしとは雖も失ひし、貨財、光陰、健康、悲慘なる記憶は終生償ひ得べきにあらず、其損失や實に大なり、尙悔ひ改めしとは雖も傷持つ足は完全なるものに如かず、父の憂慮の種子たり、今日家庭に又國家に要する者は放蕩息子に非ずして、志固く心深く常に父に仕へて家業に務めし長子なり、とて靑年に多大の反省と奬勵とを與へらる。

閉會八時半直ちに車を驅りて會長渡邊姉も其湊川小學校に開かるる敎育會臨席一場の演說を試みらる、一同喜びうけらるゝ所ありしと。

十二月四日午後二時より活田敎會に於て母の會開催、例に由り讚美聖書朗讀祈禱を以て開會神戶神學校敎授溝口氏のキリストの十字架に關する講話あり、十字架の精神は單に十字架上に現はるゝのみに非らず苟も平和圓滿の行はるゝ所必ずや犧牲あり其犧牲即ち十字架の精神にして、此精神は實に家庭の平和、幸福を大にしては社會の圓滿の基礎なりとて夫れよりキリストの十字架に現はれし意志の力につき諄々敎へらるゝものあり、即ち己を得ずしてに非ず、キリストは其生涯の始めより此世に十字架と二の道置かれしてと自ら撰んで覺悟して苦痛の道を執り遂に十字架に死し玉ひぬ、人の價値は覺悟して犧牲となる點にあり母として妻として、亦此精神なかるべからずとて尙十字架の愛に現はれし意志の力、沈默に顯はれし意志、祈りに現はれしものとに分ち婦人として特に學ぶべき事共懇に說き聞かせらる、三時半閉會二三の報告あり、出席參拾餘名

同八日神戶敎會に於て午後二時より委員會開催拾壹名出席一ヶ年の感謝に併せて新年の働きの計畫を爲さむことなどとの會長のすゝめあり、即ち議事に移る

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

其一、女教員を冬季休暇中矢島本部合頭來神中に開催する事
其二、救濟課の働として出獄者保護會、養老院等のため來春バザーを開催する事
其他新年の活動として三四件熱議する所あり四時半散會す

追加

十一月廿四五の兩夜神港クラブに於て出獄者保護會、養老院、苦學青年會の三團體共同慈善音樂會開催につき會員一同之に助力周旋せり

○大阪

大阪婦人矯風會第十回年會報告

十二月四日土曜日午前九時半より中之島事務所に於て開催す午前司會者樫内昕子讃美歌聖書朗讀開會祈禱に續き十五分間會員の祈禱本年中に受けし惠みの感謝と將來の働きにつき神の祐をいのる。

次に各教會委員點呼各課長及書記會計の報告につき林會長より本年は當地に於て特に出來事多かりしも幸ひに神は吾等の弱きものをも用ひ玉ひてキリスト大將の下にある兵卒として働らかせ玉ひたれば思ひに勝る、捷どきを擧げ無事此年を終る事の惠を感謝すると共に猶將來も倦まず撓まず社會の惡魔と戰ひ共に進み行かねばならぬ事を述べられ役員撰擧に移る。

投票結果

會長	林　歌子	三十九票
書記	清水たね子	三十九票
同	日野原みち子	二十八票
會計	菊池しな子	三十八票
同	深澤ふく子	三十二票

從前書記の齋藤久子姉病氣の故を以て辭任せらる會計伊東しな子菊池と改姓せらる正午の祈禱を以て午前の會を閉づ

晝飯兼親睦會開かる

午後二時より加古幸惠姉司會にて開催せらる新舊役員の交迭杉田いそ姉會員一同に代り舊役員へ挨拶あり林會長の答辭續て司會者より再び役員就任の勞を謝せられ林會長より課長撰擧の披露あり會期は南教會最大增加數により之を更らる老年會員西教會笹井すみ姉八十才浪花教會淡田松枝姉七十七才何れも熱心なる會員にて壯健いつも集會に出席せざる事なし當會より二姉を祝するため聊か物品を贈呈す次に基督教世界社主筆加藤直士君の奬勵あり家庭に於ける婦人の修養といふことにつき適切なるすゝめなりき

協議

慰問部設置の件　可決

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

部長として緒方維準氏の夫人吉重姉撰ばる慰問部は花の課に對する一部の働として病者慰問の外更に會員若くは世の不幸者等煩悶する人を慰問して聖書を贈る事を擔當す。

來年度定期集會の場所

各課長に撰定依頼する事と決す

右終り一同散會四時なりき（午前四十人午後六十人）

各課長

傳道課	森山のぶ子	二宮わさ子
母の課	杉田いそ子	古木ため子
風俗課	馬場まつえ子	
花の課	緒方千重子	蒲原つま子
日曜學校課	西野さた子	
教育課	細合はつ子	
軍人課	柳原たけ子	藤本ます子
交際課	淺井やす子	大塚つれ子
安息日課	名出いく子	
救護課	林より子	
慰問部長	緒方吉重	

役員

會長	林歌子
書記	清水たれ
同	日野原みち
會計	菊池しな
同	深澤ふく
ホーム主任	林より
評議員	田口たけ子　石神八重子

明治四十二年度第十回年會報告

書記　清水種子

明治四十一年十二月より同四十二年十一月に至る調査

一會員現在數　五百二十八人

内

通常會員　四百七十七人

贊助員　五拾一人

一本年中新入會員　壹百〇八人内六人男

一永眠者　五名

西教會　吉見龍子　甘利いわ子

北教會　細野てつ子

三一教會　夏目きぬ子

救主教會　藤山うめ子

一退會及轉會者　九十七名

差引六名の増加

一定期集會　九回

一月　新年會　　二月　ウイラード嬢紀念會

三月　母の會　　四月　少年少女會

五月　地久節祝賀會　　六月　花の紀念會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

七　月　母の會　　　十一月　祈禱會
十二月　年　會
一特別集會
一　月　演藝會　　　四　回
　　　　　　　　　　五月　滿十年紀念會
七　月　大　會　　　七月　大會報告會
一臨時總集會
　　　　　　　　　　三回以上
八　月　大火救濟の爲及北新地遊廓移轉運動のため
十　月　宣敎五十年紀念大會報告及婦人ホーム財政につき相談會
一役員會　　　　　　數　度
一本會設立年月　　　明治卅二年五月廿八日
一附屬ホーム設立　　同　四十年五月廿八日
一事務所及ホーム所在地　北區中之島六丁目六番地
一市内敎會及講義所　　貳十四
一婦人新報購讀者　　　貳百三十册
一書記より本部へ通信　十　回

本年度に於る定期以外の働き

一月廿九日卅日兩夜中之島公會堂に於てホーム基金募集のため慈善大演藝會を開き會員は勿論下の關矯風會長長安姉同地柴潮會青年等の盡力せらるゝ事多大なりき
五月廿八日地久節祝賀會當日大阪婦人矯風會設立滿十年につき紀念祝賀會を川口プール女學校講堂に開き知事市長四師團長各新聞社々長を聘し祝意を表す
設立滿十ケ年事業大要を編し之を頒つ
八月四日より北區大火につき罹災者救濟所を土佐堀青年會館に設け青年會協同して之は救濟事業を補佐す大救濟は九月末にて終り今尙之を繼續す
同時に曾根崎新地全燒を好機として豫て遊廓移轉の問題の緊急時期到來し百方盡力大活動の結果府令第八十號により一先づ良き終りを見るに至りたり
是全く天帝の祐助と全國同胞兄弟姉妹方の御同情厚き熱誠の力に外ならすと感謝す
十一月八日より古間萬國婦人矯風會派遣員ミススツラウト嬢通既結城嬢と共に來阪せられ敎育課のため大活動をせられたり
十一月廿七日中之島公會堂に開かるヽ與風會の全國模範善行者一同へ聖書を贈呈し其善行を表祝せらる
右は交際課の働きとして特に之をなす

敎育課報告

明治四十二年二月風俗課長馬場姉と協議し府下並に市内中等敎育に從事せらるヽ諸學校長を淸水谷高等女學校濟美館に招待し風敎に關する問題に就き懇談會を開きたり。
十一月八日萬國婦人矯風會特派員スツラウト嬢通譯結城とよ子姉と共に來阪十日間當地諸學校に於て矯風に關する有益なる講話をせられたり其校名左の如し

大阪工業學校　今宮中學校　天王寺中學校
市岡中學校　職工學校
府下女子師範學校　淸水谷高等女學校
夕陽丘高等女學校　ウキルミナ女學校

ブール女學校　　梅花女學校

又敎育上の矯風てふ題に就き市內小學校敎師の爲めに講演せられ多大の感動を與へられたり

東區小學校敎師は　　東區浪華尋常小學校に於て

西區小學校敎師は　　西區役所樓上に於て

南區小學校敎師は　　精華尋常小學校に於て

北區小學校敎師は　　中之島尋常小學校に於て

其人員は最も多き時は約五百少きも二百以上にて皆々熱心にきかれたり

猶ほ東區北大江尋常小學校父兄會に於て父兄のため有益なる講話せられたり

花の課報告

慰問患者數並に寄贈物品數

	慰問せし病院數	患者數	自宅に慰問せし患者數	寄贈物品數	同聖句カード數	同花數	同雜誌數
一月	一	一〇〇			一〇〇	一	五〇
二月	一	七〇		七〇			七〇
三月	一	三〇	一	六〇	二	二	三二
四月	二	二〇	二	一四	九	一	三
五月	一	三二	一		三二		三二
六月	一	二六四	二〇		九五	七四	一〇〇
七月	一	三五			六五		五五
八月							
九月	二	一〇			一〇		一〇
十月	一	四	三		六	一	六
十一月	二	二四			二四		二四
十二月							
合計	一五	六一八	二七	一四四	三四三	七八	四〇九

雜誌郵送數	北區大火罹災者救護所を慰問せし數	同患者數	同寄贈物品數	合計
八				
一六				
一六				
二〇				
一八				
一八				
一八				
一八	二	三二	三二	
一八				
一八				
一八				
一八六	二	三二	三二	

右報告致候

四十二年十二月四日

藤本榮子
緒方千重子

明治四十二年度大阪基督婦人矯風會決算期告

收入總高

一金壹千八百〇六圓九十八錢

內譯

一金四百六拾壹圓六十七錢　　會費幷に雜誌代
一金壹百五拾四圓〇五錢　　寄贈金
一金貳拾五圓四十五錢　　株金
一金七拾圓八十五錢　　音樂會決算後殘金
一金拾圓　　賞金
一金貳拾七圓二十錢　　大會費
一金貳拾圓四拾五錢　　地代
一金壹圓十一錢　　利子
一金貳拾一圓九十四錢　　繰越金
一金壹千〇拾四圓六拾六錢九厘　　ホーム收入

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

支出總計

一金壹千八百拾六圓九十二錢四厘

内

一金四百〇八圓四拾六錢一厘　婦風會費用

内譯

一金六拾六圓　東京本部書記手當
一金百拾貳圓　新報代
一金拾貳圓拾錢　花の課費
一金貳拾貳圓六十一錢　少年課費
一金參拾四圓二十三錢　十年紀念會費
一金九圓九拾貳錢　母の會費
一金四拾九圓九拾九錢壹厘　事務費
一金四拾九圓拾壹錢　印刷費
一金五拾貳圓五拾錢　大會費并に義務費
一金壹千四百〇八圓四拾六錢三厘　ホーム支出

内譯

一金貳百七拾圓九錢八厘　事務費
一金七百七圓一錢五厘　食費
一金六拾六圓六拾五錢五厘　税金
一金百三拾四圓八拾貳錢　薪炭油
一金八圓拾貳錢　印刷費
一金五圓拾五錢五錢　交際費
一金百九拾八圓五拾錢　ホーム職員俸給并に勤勞費
一金拾五圓六拾八錢　火災保險料
一金貳圓四拾錢　救助費

差引不足

一金九圓九拾參錢九厘

右之通り決算仕候也

明治四十二年十二月四日　會計　菊池しな

○横濱

明治四十二年十一月十九日第三土曜日午後一時より横濱基督教婦人矯風會主催の許に市内各教會婦人親睦會を高島山高島嘉右衛門氏の厚意によりて同邸内の一室に催す讃美歌聖書朗讀祈禱に次て司會者開會の主意並に矯風會前途の爲に益々一致協力せられんことを述べ續いて久留島武彥氏には我國の今日あるは已に故人となられし人々また現時の老人方の困苦經營せられし賜にありて今日の我等は未來の國民を指導する大重任を負ふもの目下泰西の文明浙入し來りて一も二も文明といひて我國特有の禮儀作法等は漸々退歩し諸人の腦底より忘却せられんとする傾向あるは實に遺憾千萬として今日家庭改造の說起りあるも到底根本より改良せら

るゝはいまだ多くの時日を要する場合現今の志人方にも餘り自ら退隱して年若きものとの間に深き溝を築かるゝなく進んで我國古來の優美善良なる良習慣を說き後進者を導かれんことと並に後進者も今一層年長者を敬ひ近きて幾百年間我國に傳はる禮儀作法を會得するに至らんことを種々面白き趣味ある例を引き終りて矯風會員として勉むべき要點數々擧げられ一同新しき智識と大なる勇氣を受く又蓄音機の慰もあり幸に天氣淸朗白帆を立つる小船數多く海面にあり老幼一堂に樂しく會し茶菓を喫し夕暮散會す來會者百有餘名近時になき盛會なりき。

○前橋

十月例會、二日午後二時より開會司會者松宮しん子姉にて讃美聖書朗讀熊谷夫人の祈禱あり次で記錄朗讀會計の報告風俗課報告あり即ち山本署長は其後酌婦取締として檢梅を勵行せしめ其實行を見るに至り飲食店は從前よりも一層盛況を極め風俗上尙宜しからざる點を多く見受く尙公然檢梅を實行するが如きは私娼を公許すると同然なれば早速署長を訪問して其意見をきく事に決しぬ訪問委員として松宮はる子柴田豐子の二姉をえらびぬ其より研究問題「秋の活動」に就て各自其所感をのべぬ尙來秋當地にて開催の一府十五縣の共進會に矯風會にても何にか働きをなしたらばとの事につき一同協議す結局宿題として研究することにす

十月十八日午後二時より熊谷せつ子姉宅にて役員會開會出席者ペットレー夫人、松宮しん、花崎喜代、熊谷せつ子にて議決せしは一來月は役員の改撰期なれば指名にて適當なる改撰をなすこと、一上毛婦人矯風會聯合親睦會の期日を安中矯風會へ宛問合せ尙大會席上に議案として提出する來年の共進會に於ける矯風運動の事を前以て各支部へ宛協議しをかれる樣に出状すること

等にて尙其運動につきての方法等を相談し二三の原案をつくり聯合親睦會に提出して賛同を得ることのために

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

十一月例會六は第一土曜日に開會の筈なりしも安中矯風會に於ける上毛婦人矯風會聯合大會と一致する爲め十月三十日午後二時より敎會にて開會松宮しん子の司會讃美祈禱聖書朗讀記錄朗讀會計報告あり、柴田とよ子姉起て酌婦の檢梅につきての其後の經過を見るに幾多の弊風を見出し公然たる私娼にて善良なる市民に及ぼす惡感化を思ふて慄然たらざるを得ず其矯正方法を計ることの急なることをのべぬ早速閉會後柴田とよ子松宮はる子の二姉にて署長を訪問し其意見をきくことに決議したり

役員又課長の改撰左の如し
會頭ペットレー夫人、副會頭熊谷せつ子、記錄書記松宮しん子、通信書記德江いく子、會計柴田とよ子、風俗課長松宮はる子、衞生課長田村こと子、花の課長平賀くに子、副宮內すみ子

山本警察署長訪問、柴田とよ子松宮はる子の兩姉にて酌婦檢梅の事につき署長にその意見をきゝしに署長は酌婦檢梅といふ事は決して其意味にてはあらずして單に健康診斷を勵行するといふ考ひなりしも自然かゝる成行になりしは痛心に耐へずなんとか其方法を變更するつもりなりとの事を述べられぬ

○靜岡

十一月十九日（金曜日）午後六時半靜岡婦人矯風會にては兼ねての計畫通り本部より矯風會長矢島揖子女史横倉秀子女史を聘して有益なる講演會を開く事を得たり殊に會長には寒氣に向ふ折から長途の御疲れをも厭はせられず御出席遊されて本會の爲め御盡力下される事は當支部會員の深かく感謝する處なり

講演會順序

挨拶	波多野牧師
開會の辭	山家會長
聖書	仙石千技子
新	城のぶ子
唱歌	英和女學校有志
禁酒禁煙の話	横倉秀子女史

禁酒に關して實例を以て且つ女史が實驗によりて其の害毒の如何に恐るべき物なるかてふ事を印象深かく說話されたり

婦風會の性質　波多野牧師

婦風會の沿革の大略につき

矢島女史は矯風會が發展の當時の狀に溯りて創業の苦心又禁酒禁煙が

國家の品位を保ち第二の國民養成のために如何に緊急なる事業なるべきか且つ此の事業は家庭のクインと成りて常にかくれたるに活動しつつ有る婦人の努力にまたざるべき事を懇々としてさとされたり

此の日會する者三百名計り共の内男子は四分の一程なりき此の講演會の刺戟によりて本會に入會申込まれたる方にも見うけられたり

歡迎會

十一月二十日
英和女學校に於て開催す
來會者卅二名綾部姉の祈りにて開會池田姉の歡迎の辭ありて矢島會頭の答辭ありたり
答辭に於て女史は自己と矯風會委員の關係を親と子の關係に例へ慈愛あふるゝ計りなる感謝の辭を述べられ合せて矯風會の確信會員一同の決心等に關して懇にさとされ會員一同奮勵せられて實に有益なる集りなりき共に晝飯をすまし茶菓の饗應の後紀念の撮影をなし興に入りて午後三時半散會せり

○松山（青年部）

拾月七日午後三時十分より例會を開く會長矢野姉司會の下に聖書朗讀祈禱の後本日の會題自治に就吾等會員は常に先づ自己の眼にある塵埃を取り去り、後進むて他人の眼の塵埃をも懇に取り去るに務めざるべからずとの意をもて勸話あり次て禮拜の心得、相互の禮義時間の嚴守等の自治に就て大原、松浦、武内諸姉の感話ありたり。

長光教師も同題にて懇切の勸話に次ぎ本日出席の非會員金澤教師の熱心なるお勸め其他數名聖書朗讀祈禱等續てあり一同大に裨益せられて散會したり出席者三十餘名あり。

十一月十一日閉校後例會を開く矢野姉司會の下に聖書朗讀祈禱の後會長先づ「會の進步」と題し吾會現時の精神は極端に言へば「爾等笛吹け其悟らず云々」との聖語の如き傾向あり宜敷各自の靈眼を醒し毎月一回の集會をして靈的修養所、外部活動に先立つ研究所たらしめん事を望むとし熱烈なる感話あり、引續き林、武内諸姉及び校長の誠實なる所感あり、後數名の聖書朗讀祈禱等續々ありて一同大に勇氣回復せしを覺申、讃美祈禱の後閉會せしは午後四時十分本日の集會者四十二名なり。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA